

産業サイバーセキュリティ研究会
ワーキンググループ1(制度・技術・標準化)
宇宙産業SWG(第3回) 議事概要

1. 日時・場所

日時:令和3年11月4日(木) 15時00分～17時00分

場所:経済産業省本館5階東1会議室／オンライン併催

2. 出席者

委員 :坂下委員(座長)、鹿志村委員、片岡委員、木下委員、栗原委員、小山委員、佐々木委員、名和委員、丸山委員、満永委員、吉松委員

オブザーバ:内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター、内閣官房 衛星情報センター、内閣府 宇宙開発戦略推進事務局、総務省、文部科学省、防衛省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)
宇宙産業SWG作業部会コアメンバー及び拡大メンバー

経済産業省:製造産業局宇宙産業室室長代理 室長補佐(統括)伊奈康二
商務情報政策局サイバーセキュリティ課課長補佐 入江奨

3. 配付資料

資料1 議事次第・配付資料一覧

資料2 委員等名簿

資料3 最近の産業サイバーセキュリティに関する動向について

資料4 事務局説明資料『民間宇宙システムにおけるサイバーセキュリティ対策ガイドライン Ver.0.2』(非公表)

4. 議事内容

1) 宇宙産業SWG開催挨拶

- 事務局から、現下の状況を踏まえて、会議室に出席の座長とオンライン出席の委員及びオブザーバ参加の関係者によるハイブリッド形式で開催との説明があった。

2) 情報提供

- 経済産業省サイバーセキュリティ課入江課長補佐から『最近の産業サイバーセキュリティに関する動向について』の情報提供があった。

3) ガイドラインの開発について

- 事務局から『民間宇宙システムにおけるサイバーセキュリティ対策ガイドライン Ver.0.2』についての説明があった。

4) 自由討議

(1) 最近の産業サイバーセキュリティに関する動向について

- SBOM の実証実験に対する質疑があり、ユーザ側にどのような情報を整理・提供できるか、コストシェアの在り方等も含め、検討していく旨の説明があった。

(2) 民間宇宙システムにおけるサイバーセキュリティ対策ガイドライン Ver.0.2 について

① 『1. はじめ』について

- 民間事業者がサイバーセキュリティ対策の必要性を認識するためのメッセージ性について
産業界ではサイバー攻撃で市場から撤退する事業者が出ている中、そうした事態から事業者を守ってあげたい、事業者を守るためにあるという強いメッセージが読み取れると良いという意見に対し、事務局で検討することになった

た。

- ・ 1.3 節の「本ガイドラインの構成及び想定読者」の中で、経営層は 2 章を中心に読むことを推奨するという趣旨の記述があった方が良いとの意見があり、事務局で検討することになった。

② 『2. 宇宙システムを取り巻くセキュリティに係る状況』について

- ・ 2.2.1 項について

サプライチェーンも意識した方がいいため、p.77 右下の図を簡略化して掲載するとわかりやすいと思うという意見に対し、事務局で検討することになった。

- ・ 侵入された場合の対応について

侵入されないための対応については記載されているが、侵入された後の対応について記載されていないように感じる、という意見に対して、基本対策事項の書きぶり(侵入後の対応を考慮する等の記述)を事務局で検討することになった。

- ・ システムを監視するという考え方は入っているのかという質問に対して、本ガイドラインで紹介している経営ガイドライン、ISMS などに記載されている旨の説明が事務局から行われた。

③ 『3. 民間宇宙システムにおけるセキュリティ対策のポイント』について

- ・ ゼロトラストへの対応について

ガイドラインにおいても将来的にはゼロトラストへの対応が考えられるといった記載をした方が良いのかといった意見に対し、作業部会において検討することとなった。

- ・ 高いセキュリティレベルが求められる場合「以外」の対応について

ビル分野のガイドラインのように、要求事項と基本対策事項の表のようなものを整理するとわかりやすいという意見に対し、表の整備を事務局で検討することにした。

(3) その他

最後に事務局から、今後のスケジュールについて以下のとおり連絡を行った後、閉会した。

- ・ 次回の第4回会合については、本日いただいたご意見を踏まえつつ、作業部会を1回又は複数回開催して内容を更新した上で、年度内に開催できるように準備を進める。
- ・ 日程等の詳細については後日連絡する。

お問合せ先

製造産業局 宇宙産業室

電話：03-3501-0973